



実りの秋に向けて ～がんばっています。学習発表会練習～

空の青が次第に濃くなり、秋の気配が感じられるようになりました。夏の最盛期はモクモクとした積乱雲が空を占めていましたが、最近はいわし雲や刷毛で掃いたような雲が多くなってきました。夏の名残がありつつ、秋の雲が現れ始めている空を「行き合いの空」と言うそうです。正岡子規は「春の雲は線の如く、夏の雲は①の如く、秋の雲は②の如く、冬の雲は鉛の如く」と季節による雲の変化をたくみに表現しています。（さて問題、①と②にはどんな言葉が入るでしょう。答えは最後にあります。）

田んぼを渡る風が黄金色に染まり始めると「灯火親しむ秋」とか「スポーツの秋」と言われるように、いよいよ実りの秋、勉強に運動に絶好の季節となってきます。今ほどの学年も、この日曜日に行われる学習発表会に向けて全力疾走中です。時々、私も各学年の練習中にお邪魔して見学していますが、子どもたちの真剣なまなざしと取り組む姿を見ていると、当日の発表が待ち遠しくなります。明日の予行、そして当日とたくさんの方々のお出でをお待ちしています。



この後も、芸術鑑賞会、稲刈り、マラソン記録会、なべっこ会と秋の行事が目白押しですが、これら一つ一つの行事をただこなすのではなく、しっかりとした目標をもたせて参加させるとともに、その振り返りも大切にして、それぞれの行事を子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。当日は、子どもたちへの温かいご声援をよろしくお願いいたします。

内小友地区敬老会 ～6年生が参加してきました～

12日、山の手ホテルで行われた内小友地区敬老会に6年生が参加してきました。毎年、本校の6年生が参加し、歌や器楽等を披露しています。はじめに大仙市民の歌「夢 この大地を」を6年生が正面に立ち全員と斉唱しました。その後の余興では、詩の朗読、器楽部の合奏、リコーダーや歌、そして最後に盆踊りを披露し、おじいちゃん、おばあちゃん方から拍手喝采をいただきました。

敬老会には168名の方が参加されたそうです。また、大仙市の最長寿の方は108歳で、この内小友（島根）の方ということでした。子どもたちの発表を見ているおじいちゃん、おばあちゃん方の表情がとてこやかで柔らかく、温かく子どもたちを見守ってくださっていることが感じられました。その温かさが引き継がれ、この内小友地区のよさにつながっているのだと思いました。



「夢 この大地」を斉唱



動作入りでの詩の朗読、リコーダー、美しいさばきの盆踊りを披露する6年生

